

作成日：2006年7月1日

改訂日：2017年2月15日

## 安全データシート (SDS)

### 1. 化学品及び会社情報

製品名 プレノコートAL(アルミペースト)

会社名 日新工業株式会社

住所 〒120-0025 東京都足立区千住東2丁目23番4号

担当部門 技術部

電話番号 048-755-6188 FAX 番号 048-755-6177

緊急連絡先 03-3882-2613 営業総務課

奨励用途及び使用上の制限 工業用(建築用塗材 等)

整理番号 AR-T021

### 2. 危険有害性の要約

GHS分類

|                 |        |                   |     |
|-----------------|--------|-------------------|-----|
| 引火性液体           | 分類対象外  | 感作性(皮膚)           | 区分1 |
| 急性毒性 経口         | 区分外    | 生殖細胞変異原性          | 区分外 |
| 急性毒性 経皮         | 分類できない | 発がん性              | 区分外 |
| 急性毒性 吸入(ガス)     | 分類できない | 生殖毒性              | 区分外 |
| 急性毒性 吸入(蒸気)     | 分類できない | 特定標的臓器/全身毒性(単回暴露) | 区分1 |
| 急性毒性 吸入(粉塵、ミスト) | 分類できない | 特定標的臓器/全身毒性(反復暴露) | 区分1 |
| 皮膚腐食/刺激性        | 区分2    | 吸引性呼吸器有害性         | 区分1 |
| 眼に対する重篤な損傷性/刺激性 | 区分外    | 水生環境有害性(急性)       | 区分1 |
| 感作性(呼吸器)        | 区分外    | 水生環境有害性(長期間)      | 区分1 |

※ 記載のないものは分類対象外または分類できない。

GHSラベル要素



注意喚起語：危険

危険有害性情報

- ・ 皮膚刺激
- ・ 強い眼刺激
- ・ 血液の障害
- ・ 眼の障害のおそれ
- ・ 呼吸器への刺激のおそれ(気道刺激性)

## プレノコートAL(アルミペースト)

- ・ 眠気またはめまいのおそれ（麻酔作用）
- ・ 長期または反復暴露による臓器（血液、眼、鼻）の障害
- ・ 長期または反復暴露による臓器（肝臓、精巣）の障害のおそれ
- ・ 飲み込み、気道に侵入すると生命に危険のおそれ
- ・ 水性生物に非常に強い毒性
- ・ 長期的影響により水生生物に非常に強い毒性

注意書き

「7. 取扱い及び保管上の注意」、「13. 廃棄上の注意」をお読みください。

### 3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別

製品は混合物

化学名または一般名

アルミペースト

| 成分                | 含有量<br>(%) | 化学式                                                           | 官報公示整理番号<br>(化審法・安衛法) | CAS No.                  |
|-------------------|------------|---------------------------------------------------------------|-----------------------|--------------------------|
| アルミニウム            | 64～67      | Al                                                            | 非該当                   | 7429-90-5                |
| ステアリン酸            | 3 以下       | C <sub>18</sub> H <sub>36</sub> O <sub>2</sub>                | (2)-608               | 57-11-4                  |
| ミネラルスピリット         | 30～36      | 特定できない                                                        | (9)-1702              | 64742-88-7<br>64742-95-6 |
| (トリメチルベンゼン)       | (6.3 以下)   | C <sub>9</sub> H <sub>12</sub>                                | (3)-7                 | 25551-13-7               |
| (1,2,4 トリメチルベンゼン) | (4.9)      | C <sub>9</sub> H <sub>12</sub>                                | (3)-7                 | 95-63-6                  |
| (ナフ)              | (2.2 以下)   | C <sub>9</sub> H <sub>20</sub>                                | (2)-9                 | 111-84-2                 |
| (1,3,5 トリメチルベンゼン) | (1.0)      | C <sub>9</sub> H <sub>12</sub>                                | (3)-7                 | 108-67-8                 |
| (キシレン)            | (0.8)      | C <sub>6</sub> H <sub>4</sub> (CH <sub>3</sub> ) <sub>2</sub> | (3)-3                 | 1330-20-7                |
| (エチルベンゼン)         | (0.4)      | C <sub>8</sub> H <sub>10</sub>                                | (3)-28                | 100-41-4                 |
| (クメン)             | (0.4)      | C <sub>9</sub> H <sub>12</sub>                                | (3)-22                | 98-82-8                  |
| (ナフタレン)           | (0.2 以下)   | C <sub>10</sub> H <sub>8</sub>                                | (4)-311               | 91-20-3                  |

その他充填材等を含め、全体で 100%

### 4. 応急措置

吸入した場合：本人を風通しの良い場所へ移動させ、必要に応じて医師の手当てを受けて下さい。

皮膚に付着した場合：石鹼水及び水で洗い落とし、痛み又は外観に変化があるときは医師の手当てを受けて下さい。

目に入った場合：多量の水で 15 分以上洗い落とし、すみやかに医師の手当てを受けて下さい。

飲み込んだ場合：口中の異物を取り除き、医師の手当てを受けて下さい。

### 5. 火災時の措置

消火方法：溶剤だけが燃焼している初期段階では、炭酸ガス、または粉末消火器

を使用して下さい。

アルミニウム粉末が燃えているときは、ガラス繊維布を用いて、火元を覆い窒息消火をして下さい。

消火後のアルミニウムペーストの後始末または移動は内部温度が常温まで下がり、一昼夜以上温度上昇が無い事を確認した後、行って下さい。

消火剤 : 粉末消火剤、炭酸ガス消火剤、ガラス繊維布、乾燥砂、雲母粉

使ってはならない消火剤 : 水を絶対に使わないでください。

泡消火器やハロゲン系の消火器の使用は薬剤がアルミニウム粉と反応するため、絶対に使用しないで下さい。

## 6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項/保護具及び緊急時措置 :

屋内の場合、処理が終わるまでに十分に換気を行って下さい。

こぼれた場所は滑りやすいために注意して下さい。

環境に対する注意事項 :

流出した製品が河川等に排出され、環境への影響を起ささないように注意して下さい。

除去方法 :

付近の着火源を取り除いて下さい。

容器からこぼれた場合には、布（ウエス）で拭き取って水、酸、アルカリ等が付着していない密閉容器に保管して下さい。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

- ・ 熱、火花、裸火のような着火源から遠ざけて下さい。
- ・ この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないでください。
- ・ 静電的に敏感な物質を積みなおす場合は、容器及び容器を接地、結合すること。
- ・ 防爆型の電気機器、換気装置、照明機器等を使用して下さい。静電気放電に対する予防措置を講じて下さい。
- ・ 取扱い中はできるだけ皮膚に触れないようにし、必要に応じて適切な有機ガス用防毒マスク、保護眼鏡、保護手袋等を着用して下さい。
- ・ 工具、道具は非スパーク性の素材のものをを用いて下さい。火災を発生しない工具を使用して下さい。
- ・ 工具、道具、着衣などは非帯電性の素材のものをを用いて下さい。
- ・ 床は、床面に水が浸水、または浸透しない構造にして下さい。
- ・ 落下、摩擦などの激しい衝撃や振動を加えないようにして下さい。
- ・ 粉塵、ミスト、蒸気、スプレーを吸入しないでください。
- ・ 取扱い後は良く手を洗って下さい。
- ・ 環境への放出を避けて下さい。

## 局所排気・全体排気：

- ・取扱い作業所には、局所排気装置を設けて下さい。
- ・屋外又は換気の良い区域でのみ使用して下さい。

## 注意事項：

- ・取扱い場所ではみだりに水蒸気を発生させないでください。

## 安全取扱注意事項：

- ・すべての安全注意を読み、理解するまで取り扱わないでください。
- ・水、酸、アルカリ等アルミニウムと反応する物との接触、混合をさせないでください。
- ・塩素系炭化水素溶液はアルミニウムと反応するため、混合、接触を避けて下さい。
- ・酸化剤との接触や混合、炎・火花もしくは高温体との接近、回転部等の摩擦による加熱を避けて下さい。

## 保管

## 適切な保管条件：

- ・密封をし、遮光と換気が十分で適正な温度（40℃以下）、湿度に保たれた屋内に貯蔵して下さい。
- ・保管中に容器が万一異常な内圧によりふくれた場合：  
容器上蓋にガス抜きビスがあるものは、これを徐々にゆるめて内圧を大気圧まで降下させたのち開缶して下さい。  
容器上蓋にガス抜きビスがないものは、上蓋が飛ばないように押さえ、ハンドルレバーをゆるめ、徐々に内圧を下げてから開缶して下さい。

## 安全な容器包装材料：

- ・情報なし

## 8. ばく露防止及び保護措置

## 設備対策：

作業場の換気を良くし、局所排気装置等の設備を設けて下さい。

## 管理濃度及び許容濃度：

| 成 分            | 管理濃度     | 許容濃度                                 |                                                         |
|----------------|----------|--------------------------------------|---------------------------------------------------------|
|                |          | 日本産業衛生学会<br>(2005)                   | ACGIH(2005)                                             |
| アルミニウム         | 設定されていない | 設定されていない<br>(2005)                   | TLV-TWA<br>5ppm(高温 Al として)(2005)<br>10ppm(粉じんとして)(2005) |
| ミネラルスピリット      | 設定されていない | 設定されていない<br>(2005)                   | TLV-TWA 100ppm(2005)                                    |
| ステアリン酸         | 設定されていない | 設定されていない                             | 設定されていない                                                |
| トリメチルベンゼン      | 設定されていない | 設定されていない                             | TLV-TWA 25ppm                                           |
| 1,3,5トリメチルベンゼン | 設定されていない | 25ppm                                | TLV-TWA 25ppm(2005)                                     |
| 1,2,4トリメチルベンゼン | 設定されていない | 25ppm<br>120mg/m <sup>3</sup> (2008) | TLV-TWA 25ppm(2008)                                     |

|         |          |                                      |                                                  |
|---------|----------|--------------------------------------|--------------------------------------------------|
| キシレン    | 50ppm    | 50ppm<br>217mg/m <sup>3</sup> (2005) | TLV-TWA 100ppm(2009)<br>TLV-STEL<br>150ppm(2009) |
| エチルベンゼン | 設定されていない | 50ppm<br>217mg/m <sup>3</sup> (2005) | TLV-TWA 100ppm(2009)<br>TLV-STEL<br>125ppm(2009) |
| クメン     | 設定されていない | 設定されていない                             | TLV-TWA 50ppm<br>254mg/m <sup>3</sup>            |
| ナフテン    | 設定されていない | 設定されていない                             | TLV-TWA 200ppm(2005)                             |
| ナフタレン   | 設定されていない | 設定されていない                             | TLV-TWA 10ppm                                    |

## 保護具

呼吸器の保護具 : 有機ガス用防毒マスクを着用して下さい。

手の保護具 : 耐油性手袋を着用して下さい。

目の保護具 : 適切な眼の保護具を使用して下さい。

保護眼鏡 (普通眼鏡型、側板付き普通眼鏡、ゴーグル型)

皮膚及び身体の保護具 : 帯電防止作業服を着用して下さい。

## 9. 物理的及び化学的性質

## 物理的状態

形状 : ペースト状固体。

色 : シルバー色。

臭い : 石油臭。

pH : データなし。

物理的状態が変化する特定の温度/温度範囲 :

データなし。

融点 : データなし。

沸点 : 130～200℃(ミネラルスピリット)。

引火点 : 40～45℃(ミネラルスピリット)

爆発特性 : 0.8～4.9vol%(ミネラルスピリット)

比重 : 1.5

溶解性 溶媒に対する溶解性 水に不溶。

オクタノール/水分配係数 :

データなし。

分解温度 : データなし。

その他のデータ : データなし。

## 10. 安定性及び反応性

安定性 : 通常の使用では安定である。

接触により危険性のある物質 : 水、酸、アルカリ、塩素化炭化水素溶液、酸化剤

接触時の状況 : 昇温した場合、水素ガスを発生します。

## 11. 有害性情報

急性毒性（経口）： ミネラルスピリットLD50(ラット) 5,000mg/kg以上  
トリメチルベンゼンLD50(ラット) 8,970mg/kg  
1,2,4トリメチルベンゼンLD50(ラット) 5,000mg/kg以上  
キシレン LD50 3,500mg/kg  
エチルベンゼンLD50 3,500mg/kg  
クメンLD50(ラット) 1,400 mg/kg  
ナフテンLD50(ラット) 490 mg/kg  
上記より混合物として区分外に分類される。

急性毒性（経皮）： データ不足のため分類できない。

急性毒性（吸入）： キシレン LC50 6,700 ppm  
エチルベンゼンLC50 4,000 ppm  
1,3,5トリメチルベンゼンLC50 4,800 ppm(4h)  
ナフテンLC50(ラット) 3,200ppm(4h)  
上記より混合物として分類できない。

皮膚腐食性／刺激性： 混合物として区分2に分類される。

眼損傷／眼刺激性： 混合物として区分外に分類される。

皮膚感作性： 混合物として区分1に分類される。

呼吸器感作性： 混合物として区分外に分類される。

変異原性： 混合物として区分外に分類される。

発がん性： 混合物として区分外に分類される。

生殖毒性： 混合物として区分外に分類される。

特定標的臓器／全身毒性－単回暴露：

混合物として区分1に分類される。

特定標的臓器／全身毒性－反復暴露：

混合物として区分1に分類される。

吸引性呼吸器有害性： 混合物として区分1に分類される。

その他の情報： 情報なし。

## 12. 環境影響情報

生態毒性：

水性環境有害性： アルミニウム 情報なし

ミネラルスピリット甲殻類(オミジノコ) LC50(48h)0.42-2.3mg/l

トリメチルベンゼン甲殻類LC50(96h)5,400µm/l

キシレン魚類(ニジマス) LC50(96h) 3.3mg/L

1,3,5トリメチルベンゼン甲殻類(オミジノコ)LC50 6mg/l(48h)

1,2,4トリメチルベンゼン甲殻類(オミジノコ) LC50 6.14mg/l(48h)

エチルベンゼン魚類(ニジマス) LC50 4.2 mg/l(96h)

ナフタレン魚類(ニジマス) LC50 0.11mg/l(96h)

上記より混合物として水性環境有害性(急性)は区分1に分類される。

また、蓄積性のデータより、水性環境有害性(長期間)は区分1に分類される。

残留性／分解性： キレン；急速分解性がない（BODによる分解度：39%）

生体蓄積性： キレン；log Kow=3.16

移動性： データなし。

### 13. 廃棄上の注意

容器は中身を使い切ってから廃棄して下さい。

廃棄する場合には、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者かメーカーにご相談下さい。

### 14. 輸送上の注意

国際規制

国連分類：分類基準に該当しない。

国連番号：分類基準に該当しない。

国内規制

共通：転落または落下、もしくは転倒し、容器が破損しないように積んで下さい。

容器は直射日光、雨水の浸透を防ぐために、適当な被覆をして下さい。

容器が著しく摩擦、または動揺を起こさぬように運搬して下さい。

陸上輸送：消防法、労働安全衛生法、毒劇物法に該当する場合は法令に従って輸送して下さい。運搬中アルミニウムペーストが著しく漏れ、火災が発生するおそれがある場合には、火災を防止する措置を講じると共に、最寄りの消防機関に通報して下さい。

海上輸送：船舶安全法の定めに従って下さい。

航空輸送：航空安全法の定めに従って下さい。

### 15. 適用法令

労働安全衛生法

通知対象物質： ミネラルスピリット、キレン、エチルベンゼン、トリメチルベンゼン、  
1, 3, 5トリメチルベンゼン、1, 2, 4トリメチルベンゼン、ナフタレン、ナフ  
アルミニウム（粉状のもののみ対象となる）

（法第57条の2、施行令第18条の2別表第9）

特化則：エチルベンゼン 特別有機溶剤（B）（屋内塗装業務） 1%未満のため非該当

有機則：第3種有機溶剤 等

PRTR法：1, 3, 5トリメチルベンゼン 第1種 指定化学物質 政令番号297  
1, 2, 4トリメチルベンゼン 第1種 指定化学物質 政令番号296  
キレン\* 第1種 指定化学物質 政令番号80  
エチルベンゼン\* 第1種 指定化学物質 政令番号53  
クメン\* 第1種 指定化学物質 政令番号83

（法第2条第2項、施行令第1条別表第1）

＊：1%未満のためPRTR法対象外

有機溶剤中毒予防規則：第3種有機溶剤等(ミネラルスピリット)

消防法：指定可燃物(可燃性固体類)

## 16. その他の情報

### 主な引用文献

- 1) 製品安全データシートの作成指針( (社) 日本化学工業協会)
- 2) 化学物質の危険・有害便覧(中央労働災害防止協会編)
- 3) 労働安全衛生法MSDS対象物質全データ(改訂版)(化学工業日報社)
- 4) 化学物質管理促進法PRTR・MSDS対象物質全データ(化学工業日報社)
- 5) アルミニウムペースト取扱い安全手引き(社団法人軽金属協会アルミニウムペースト委員会)
- 6) 原料メーカーのSDS

- (1) このデータシートは、製品に関する情報提供を目的としたものであって、その記載内容に関し、弊社が売主その他の立場で保証責任を負うものではありません。
- (2) このデータシートは、作成日又は改訂日までに弊社が入手した情報に基づいて作成しておりますが、記載内容は新しい知見又は法規制の変更等により改訂されることがあります。
- (3) このデータシートは通常想定される保管方法および取扱い方法の範囲における情報提供です。したがって、特殊な保管又は取扱いを行う場合は、その保管又は取り扱いに適した安全対策を実施の上ご利用下さい。
- (4) 本製品の貴社の用途に対する法規制、適合性及び安全性については、弊社では確認しておりませんので、調査又は試験により確認の上ご使用下さい。
- (5) 貴社において本製品を輸出される場合には、外国為替及び外国貿易法等輸出関連法規を遵守の上、輸出してください。